



株主の皆様へ

第160期

中間報告書

2023年4月 1 日から

2023年9月30日まで

証券コード4613

関西ペイント株式会社

薩埵峠から富士山を望む

私たちは、塗料事業で培った
技術と人財を最大限に活かした
製品・サービスを通じて、
人と社会の発展を支えます。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当期における世界経済は供給制約の緩和やインフレ率の鈍化の傾向が見られるものの、地政学リスクは依然高まったままで基調的な物価上昇圧力は根強く、欧米を中心に金融引き締めが進展しており、その回復ペースは鈍化しております。そのような状況下、中国においては不動産市況の停滞の影響もありゼロコロナ政策解除後の景気回復は緩やかなペースにとどまっています。欧州においては物価高や利上げによる金融引き締めが景気を下押しする状況が継続しております。その他の地域においては、堅調な内需に支えられ景気は回復基調もしくは持ち直しの動きが見られました。わが国経済は、物価上昇や海外経済の回復ペースの鈍化などの影響を受けつつも、経済活動の正常化を背景に内需を中心に緩やかに持ち直しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は2,740億5百万円(前年同期比9.3%増)となりました。営業利益は、売上増に伴い販売費用が増加する中で、販売価格への価格転嫁などの利益改善に取り組んだ結果、257億34百万円(前年同期比63.3%増)となりました。経常利益は持分法投資利益や円安の影響による為替差益の増加などにより、320億84百万円(前年同期比52.5%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益やインドの土地売却に伴う固定資産売却益を計上したことなどにより、464億52百万円(前年同期比275.5%増)となりました。

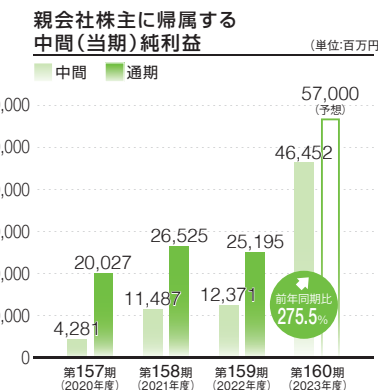
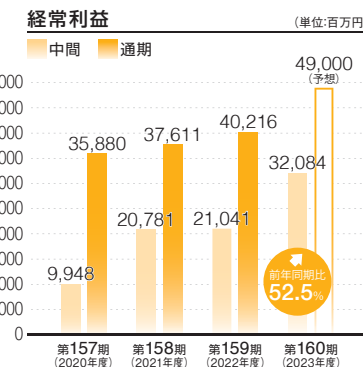
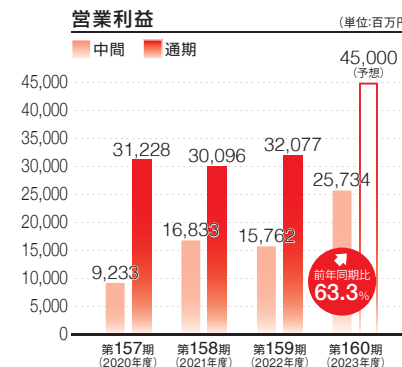
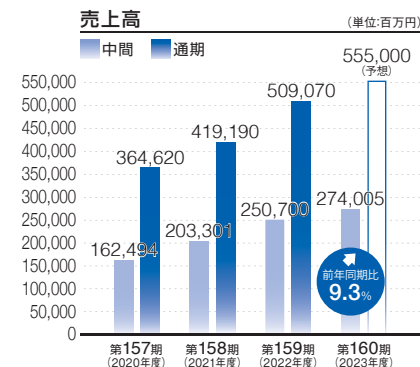
以上の業績から、当事業年度の中間配当金につきましては、1株につき18円とさせていただきます。
株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 毛利 訓士

業績の推移(連結ベース)

	第157期(2020年度)		第158期(2021年度)		第159期(2022年度)		第160期(2023年度)	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
売上高(百万円)	162,494	364,620	203,301	419,190	250,700	509,070	274,005	555,000
営業利益(百万円)	9,233	31,228	16,833	30,096	15,762	32,077	25,734	45,000
経常利益(百万円)	9,948	35,880	20,781	37,611	21,041	40,216	32,084	49,000
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益(百万円)	4,281	20,027	11,487	26,525	12,371	25,195	46,452	57,000
配当単価(円/株)	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	18.0	18.0

※第160期予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



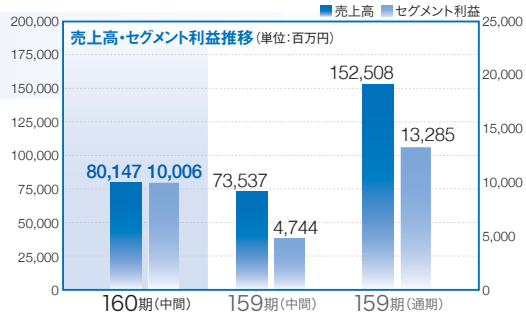
日本 Japan

29.2%
Japan

売上 **801億47百万円** (前期比9.0%増)

概況 自動車分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は前年を上回りました。工業分野、建築分野、自動車分野(補修用)及び防食分野では、市況が緩やかに回復するなか、販売価格の改善に取り組んだことなどからトータルで売上は前年を上回りました。船舶分野では、外航船修繕向けの数量増加などにより売上は前年を上回りました。利益は一部の原材料価格が低下してきたことに加え、販売価格の改善に取り組んだことなどから前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は801億47百万円(前年同期比9.0%増)、セグメント利益は100億6百万円(前年同期比110.9%増)となりました。



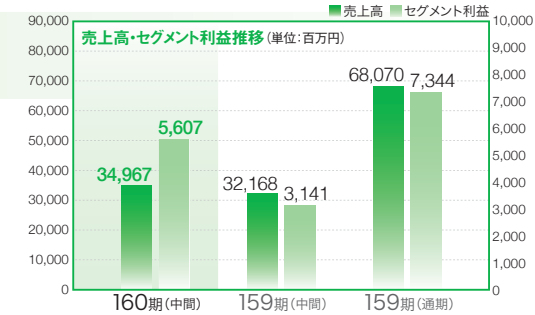
アジア Asia

12.8%
Asia

売上 **349億67百万円** (前期比8.7%増)

概況 中国においては、自動車生産台数は前年を上回ったものの主要顧客の需要は伸び悩み、売上は前年を下回りました。タイ、マレーシア及びインドネシアにおいては、自動車生産の回復に加え、販売価格の改善の取り組みにより売上は前年を上回りました。利益は一部の原材料価格が低下してきたことに加え、持分法投資利益も改善したことにより前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は349億67百万円(前年同期比8.7%増)、セグメント利益は56億7百万円(前年同期比78.5%増)となりました。



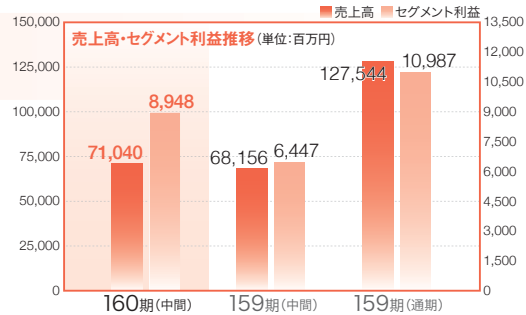
インド India

25.9%
India

売上 **710億40百万円** (前期比4.2%増)

概況 建築分野では販売促進活動を推進するものの、モンスーンの影響による市況の低迷や競争の激化等の影響を受け、売上は前年を下回りました。一方、自動車生産は安定しており販売価格の改善も寄与し、インド全体の売上は前年を上回りました。利益は、一部の原材料価格が低下してきたことに加え、販売価格の改善に継続して取り組んだことなどから前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は710億40百万円(前年同期比4.2%増)、セグメント利益は89億48百万円(前年同期比38.8%増)となりました。



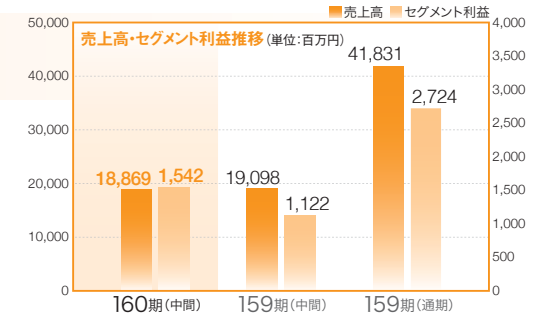
アフリカ Africa

6.9%
Africa

売上 **188億69百万円** (前期比1.2%減)

概況 南アフリカ及び近隣諸国の経済は慢性的な電力不足や物価高などの影響で回復が遅れており需要が低迷するなか、販売価格の改善などに取り組みましたが、売上は前年を下回りました。東アフリカ地域では、建築分野において掘削に注力し、売上は堅調に推移しましたが、アフリカ全体の売上は前年をわずかに下回りました。一方で、利益は商品ミックスの改善やコスト削減への取り組みなどにより前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は188億69百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は15億42百万円(前年同期比37.4%増)となりました。



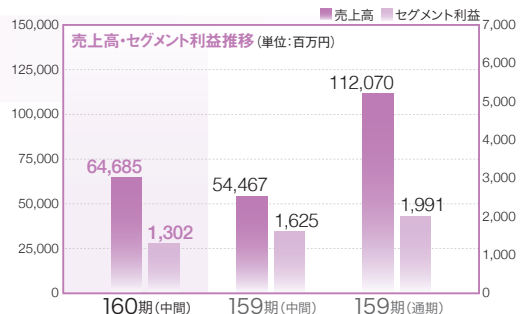
欧州 Europe

23.6%
Europe

売上 **646億85百万円** (前期比18.8%増)

概況 トルコでは、自動車生産台数が前年を上回り、販売価格の改善に取り組んだこともあり、売上は前年を上回りました。その他欧州各国においては、主力の工業分野の売上が堅調に推移したことに加え、販売価格の改善などに取り組んだ結果、売上は前年を上回り、欧州全体としても前年を上回りました。利益はインフレの影響による人件費等のコスト増の影響が大きく、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は646億85百万円(前年同期比18.8%増)、セグメント利益は13億2百万円(前年同期比19.9%減)となりました。



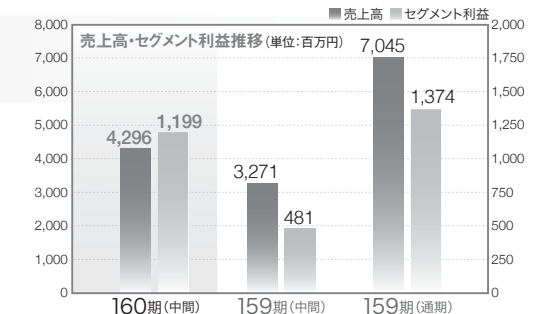
その他 Others

1.6%
Others

売上 **42億96百万円** (前期比31.3%増)

概況 北米では、自動車生産台数が前年を上回り、売上は前年を上回りました。利益については、売上の増加に伴い営業利益が改善したほか、持分法投資利益も増加したことなどにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は42億96百万円(前年同期比31.3%増)、セグメント利益は11億99百万円(前年同期比148.9%増)となりました。



(注) 各セグメント利益につき、前連結会計年度まで経常利益を記載しておりましたが、当連結会計年度よりセグメント利益(営業利益+持分法投資利益)で記載しております。この変更に伴い、前年中間期及び前年通期のセグメントの利益も同様に置き換えて記載しております。

◆連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
2023年9月30日			
流動資産	331,488	流動負債	232,338
固定資産	341,972	固定負債	51,727
有形固定資産	156,841	負債合計	284,066
無形固定資産	69,011	純資産の部	
投資その他の資産	116,119	純資産合計	389,394
資産合計	673,460	負債・純資産合計	673,460

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

2023年4月1日から2023年9月30日まで	
売上高	274,005
営業利益	25,734
経常利益	32,084
税金等調整前四半期純利益	75,669
四半期純利益	51,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,452

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

2023年4月1日から2023年9月30日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 50,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,889
現金及び現金同等物の増減額	△ 23,064
現金及び現金同等物の期首残高	83,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,199

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

創立	1918年5月17日
資本金	25,658百万円
主要な事業内容	塗料及び塗料関連製品とこれらに関する機器装置類の製造、販売、設計及び塗装の監理等
従業員数	1,585名 (従業員数は就業人員であり、当社外への出向者を含んでおりません。)

主要な事業所

本店	兵庫県尼崎市神崎町33番1号 TEL(06)6499-4861
本社事務所	大阪府大阪市中央区今橋二丁目6番14号 TEL(06)6203-5531
事業所	鹿沼、東京、平塚、名古屋、尼崎、小野、北九州
開発センター	平塚

役員及び執行役員 (2023年9月30日現在)

取締役			
代表取締役社長	毛利 訓士	取締役(社外取締役)	吉川 恵治
代表取締役副社長執行役員	高原 茂季	取締役(社外取締役)	大森 紳一郎
取締役 常務執行役員	寺岡 直人	取締役(社外取締役)	安藤 知子
取締役 常務執行役員	西林 均	取締役(社外取締役)	ジョン P. ダーキン
取締役 常務執行役員	梶間 淳一		
執行役員			
常務執行役員	田桐 澤根	執行役員	富岡 崇
常務執行役員	徳 清秀	執行役員	前川 克彦
執行役員	高多 洋一	執行役員	ブライアン D. チャウリ
執行役員	高田 秀雄	執行役員	田中 剛
執行役員	殿村 浩規		
監査役			
常勤監査役	吉田 一博	監査役(社外監査役)	山本 徳男
常勤監査役	長谷部 秀士	監査役(社外監査役)	中井 洋恵

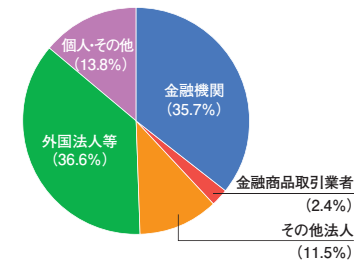
株式の状況

発行可能株式総数
793,496,000株

発行済株式の総数
238,623,270株

株主数
15,420名

所有者別株式分布状況

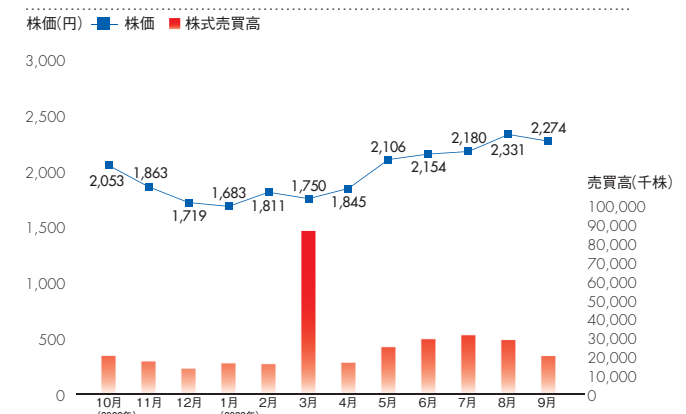


大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	35,532	15.59
日本生命保険相互会社	12,490	5.48
第一生命保険株式会社	12,485	5.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,939	4.36
JP MORGAN CHASE BANK 380055	8,502	3.73
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	7,159	3.14
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	6,704	2.94
関西ペイント交友持株会	4,271	1.87
東京海上日動火災保険株式会社	3,136	1.37
GOVERNMENT OF NORWAY	2,934	1.28

(注)1.持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
2.持株比率は、自己株式(10,734,987株)を控除して算出しております。
3.当社は自己株式10,734,987株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

株価(終値平均)及び株式売買高の推移



(注)株価及び株式売買高は、東京証券取引所におけるものです。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

0120-094-777 (通話料無料) 平日9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く)

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL (<https://www.kansai.co.jp/>)

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

ご注意

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、株主様の口座のある証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

中間配当金のお支払について

第160期中間配当金は2023年12月4日からお支払いいたしますので、同封の「中間配当金領収証」により、最寄のゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行口座へ振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」を同封いたしましたので、お確かめください。

単元未満株式の買取請求または買増請求について

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有されている株主様は、これの買取請求(ご売却)または単元株式までの不足分の買増請求(ご購入)により、単元未満株式を整理することができます。詳細は、株主様の口座のある証券会社にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

統合報告書を発行いたしました。当社の持続可能な価値創造に向けた方針と取り組みについてご覧いただけます。下記URLをご覧ください。

<https://www.kansai.co.jp/sustainability/>

IRメール配信サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方へ、当社のニュースリリース、IRニュースをEメールでお知らせいたします。右のQRコードよりご登録ください。

